



株式会社ライトウェル
〒111-0041 東京都台東区元浅草 3-18-10 上野NSビル
TEL: 03-5828-9230
<http://www.lightwell.co.jp/>

ビッグデータ活用のインフラをPower Systemsで提供 長年蓄積されたノウハウと技術力で対応

ライトウェルは長年、IBMのビジネスパートナーとしてITサービスをワンストップで提供。各種のシステム構築で培ったノウハウと技術力およびIBM Power Systems (以下、Power Systems)の高速処理能力を活かし、ビッグデータ活用などのインフラ構築に積極的に取り組もうとしている。



株式会社ライトウェル
第1ソリューション部
サービス推進グループ
主任技師
木田義樹氏

ライトウェルは、1973年に住友重機械工業の情報システム子会社として設立。以来、約40年にわたって幅広い業種に向けてITサービスを提供している。1988年からは日本IBMのビジネスパートナーとなり、長年蓄積されたノウハウと技術力をもとにITインフラの構築からソリューションの提供まで、顧客企業のニーズに合わせた最適なサービスをワンストップで行っている。

同社は長年、IBM UNIXのAIXシステムを取り扱い、現在はPowerのスペシャリティー・パートナーとしてPower Systemsソリューションを提供している。

Linux対応で選択肢が広がる Power Systemsに大きな期待

「POWER8搭載のPower Systemsが発表され、Linux対応がさらに強化されました。Power Systemsの強みをLinuxシステムでも活かせるようになり、Linux基盤を構築するお客様にとって選択肢が増えただけでなく、これまでになく高性能Linuxが出現したことに大いに

期待しています」と木田義樹氏は語る。

LinuxはIAサーバーで広く利用されているが、ビッグデータなど大量のデータをリアルタイムで処理する場合には高速処理が必要になる。たとえば、プログラマーと広告会社の間でアフィリエイトの仲介をする企業の場合、販売実績は簡単に集めることができるものの、的確な仲介は細かな情報を積み上げることで初めて可能になる。こうした大量のデータの高速処理をIAサーバーで行うのは難しい。

また、自動販売機ベンダーは全国の自動販売機から上がってくる情報を分析。在庫がなくなってから補充するのではなく、売れ行きを予測して対応しようとする。さらに、工場のラインからセンサー情報を収集し製品の歩留まりを上げる仕組みを作りたいと検討しているメーカーもある。「こうした膨大な情報をリアルタイムで処理し、知見を生み出したいというニーズはさまざまな業種で出てきています。そこではCPUだけでなく、大容量ストレージの高速I/O処理も求められるため、巨大な処理能力を持つPower Systemsが最適です」(木田氏)。

さらに、POWER8ではネットワークとストレージだけでなくGPUアダプターもサポートされ、画像や映像の高速処理も可能になっている。ライトウェルではこうした広がりを活かし、企業における開発、生産から販売、サービスのシステム構築で培った技術力と豊富な経験をもとに、ビッグデータ活用のニーズにPower Systemsで応えていく意向だ。



IBMパートナー 25年余の経験と実績

さまざまなビッグデータ活用のニーズに対し、長年蓄積されたノウハウと技術力+IBM Power Systemsで応えていく。